

団体名 縄地ヶ鼻公園振興会（山陽小野田市）

| | | |
|--------|-------------------|---|
| 代表者名 | 藤井 征男 | 団体の目的 自然豊かな縄地ヶ鼻公園の利活用を推進し、併せて利用者の心が和み、心身のリフレッシュができる場所を提供することにより、地域での交流推進や活性化を図る。 |
| 構成員数 | 60人 | |
| 設立 | 2008年(H20年)5月 | |
| 問い合わせ先 | 090-3178-8719（井上） | |

事業名 縄地ヶ鼻公園を活用した地域にぎわい創出事業第2期

- 事業の目的**
- ・5カ年間で公園内に水仙を植栽して水仙公園化を進め、多くの地域住民が訪問して交流できる場所づくりを行い、地域の交流を推進する。
 - ・子どもたちが四季を通じて楽しめる仕掛けを充実させ、気軽に集まり楽しみ、遊ぶことができる居場所づくりを進める。

- 事業の内容**
- ・「カブトムシの里」整備事業
開催日：6月10日 場所：縄地ヶ鼻公園 参加者：5人
内容：カブトムシの育成場所の整備
 - ・「水仙で来園者を呼び込もう！」作戦
日時：10月14日 場所：縄地ヶ鼻公園 参加者：150人
内容：公園法面に児童や地域住民などが水仙の球根を植栽（約3,500個）
 - ・環境保全
開催日：7月～2月（5回） 場所：縄地ヶ鼻海岸等 参加者：210人
内容：・地域住民とともに、縄地ヶ鼻海岸の砂浜や岩礁への漂着物を回収
・公園の水仙花壇を除草、施肥、植栽により整備
 - ・令和元年度水仙まつり俳句大会の優秀句の立札設置

- 事業の成果**
- ・地域住民、地元児童が自分たちで植栽したことで、公園や地域の貴重な自然に愛着を持つことに繋がり、公園への訪問者が増加した。
 - ・マスコミで取り上げられる機会が増え、俳句大会では、地元以外の児童の投稿が増え、今後の来園への期待が高まった。

活動現場レポート 「水仙で来園者を呼び込もう！」作戦〈R2.10.14／縄地ヶ鼻公園〉

今回は、コロナの関係で昨年度より規模を縮小しての開催となりましたが、地域住民、市職員等に加え、高泊小学校からも6年生40人が参加されました。

開始に当たり、段取りや注意事項等が事務局から説明されました。小学生でも植栽しやすいように、先に大人だけで法面を区画ごとに耕し、球根を並べる準備を行いました。子どもたちは、サポートの方から雨で流れてしまわないようしっかり植えること等のアドバイスを受けながら作業しました。昨年も経験していることもあり、植栽は順調に進み、予定どおり終了し、最後に児童から感謝のお礼の挨拶がありました。

地域全体を巻き込み、参加者からも、「公園をより良くしたい」という思いが伝わってくる活動となりました。



球根の植栽



児童からお礼の挨拶